

核兵器全面禁止条約への調印・批准を

香川県原水協ニュース

NO

157

2021年1月24日

原水爆禁止香川県協議会

電話・FAX087-831-5350

核兵器禁止条約発効を祝し

アピール 17 か所 147 人！キックオフ集会で

決意新たに学習と署名目標を確認！！

歴史的な1・22の「発効日」行動は、昨年の「平和の波」行動の15か所103人参加を大きく上回り17か所147人の参加者となりました。雨がそぼ降る中で、JR端岡駅での藤沢やよいさんが一人で宣伝から、三木町の「まんで願広場」の最高22人の参加者でした。原水爆禁止県民会議との共同行動はJR高松駅(高田議長・樫筆頭代表)・JR丸亀駅(米田県議・近石理事)・白鳥マルナカ前(大藪市議・自治労久保氏・東本市議)そして三木町(小島町議・渡辺町議・水谷さぬき市議)と4か所で実現しました。高田県民会議議長はリレートークの中で「禁と協は仲が悪いと思われているが、そうではありません」とアドリブ発言も飛び出しました。組織としては新婦人が2か所、丸亀市原水協が朝・昼・夕の3か所そして医療生協・民医連が5か所と大奮闘しました。

白鳥マルナカ前やJR丸亀駅、三豊市での宣伝行動では、チラシの受け取りや信号待ちの車内からの手振りなど反応が良かったとの報告もありました。また日本原水協のチラシや音出しも好評だったとの感想も寄せられました。「平和の波」(2020年8月)と比較しても参加者も1.5倍に、内容的にも丸亀市原水協は、朝・昼・夕方と3回連続行動をやり切るなど、参加者ファーストの多彩な行動となりました。「核兵器禁止条約」発効のことを、もっと多くの県民に知らせ、日本政府への署名・批准を求める署名を盛り上げましょう。22日の署名数は36筆でした。

キックオフ集会で学習を深め、実践の交流！

朝の行動が終わったあと、原水協事務所で、三密を回避しながらの学習と経験交流を行いました。学習は日本原水協で開催した「原水協学校」の大久保賢一日本反核法律家協会会長のDVDの視聴と「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」(以下新署名)にどう接近するかについて香川県原水協の福井事務局長が提案。

大久保賢一氏は同条約を法律の立場から、優しく解明。禁止内容について、丁寧に説明して頂きました。特に強調したのは、発効の意義について、法的拘束力と事実上の拘束力についての講演に、「目からうろこ」の思いでした。特に対人地雷やクラスター弾の例を引き、いくらこの条約に入らなくても、今後使えば無法者と国際的孤立は避けられないこと、ましてや「核兵器」は使えば地球的な危険になると強調。また例えば「ジェノサイド」は知らないといっても、その行為は人道に許されないことは自明と喝破。その後、「ヒバクシャ国際署名」の全国と香川県の到達を福井事務局長から報告し今後の新署名について交流しました。新婦人はこれまでの署名活動の特徴として、反応の速さとともにカンパが多いと発言。医療生協は、支部討議で出た署名の集め方を紹介。民医連はこれまでに576筆を集めていると報告。「ヒバクシャ国際署名」の教訓から、出足早く取り組もうと呼びかけました。1・22までの目標2,000筆に対

し、1426 筆の到達筆数が報告されました。



三木町まんで願広場



平和病院前



JR坂出駅



小豆島原水協



JR高松駅



高松中央公園



JR丸亀駅



丸亀城大手門前



JR丸亀駅(夕方)



琴平町マルナカ前



新婦人桜町交差点



医療生協南ブロックマルナカ前



協同病院 元山橋



キックオフ集会



香川町キョーエイ前